

優秀賞

失敗アルバム

長泉町立北中学校 3年 市原 杏莉

「失敗」その言葉を聞いて、私は一冊のアルバムを思い浮かべた。

あの日、私は写真を投げ捨てた。中学になって勉強と部活に追われる日々。何もかもがうまくいかなかった。

部活の大会の日のことだった。応援になんてこなくていいといったのに、両親がカメラを持ってやってきた。私はそのことが気に入らなかった。私は、特別足が速いわけではないし、その日は、私が中学に入ってから初めて「失敗」した日だった。そんな日の写真なんて私には何の価値もなかった。

(こんなもの……。)

そうやけになって写真を床に投げ捨てた。失敗した自分の情けなさからだった。それをちょうど父が見ていた。父は思いつめた表情をして写真を拾うと、クローゼットへ向かっていった。そして、父は大きなアルバムを私に渡した。そのときの涙をうかべた父の顔は、今でも忘れられない。アルバムの意味が何なのか分からないまま、イライラしながらめくっていくと、私はあるものを見つけた。その瞬間、涙があふれた。それは、幼い私の生まれて初めての失敗の写真だった。何度も転んでアザだらけになりながらも懸命に立とうとする私の姿がそこにあった。

「乗りこえられない失敗はない。お前はこうやって何度も失敗を重ねて大きくなったんだ。何だよ、何弱気になってるんだよ。思いつきり挑戦して失敗してこいよ。」

父が横で私に言った。中学生が赤ちゃんから失敗の意味を教わるなんて、なんだか不思議な感覚だった。でも、うれしかった。写真を手にとってアルバムに丁寧にはさんだ。そして、失敗をしても何度でも立ち上がって、私は強くなるんだ。そう心に決めた。